

(2) SDGs連携事業

本研究所では、鳥取県及び鳥取市など県内の地方行政組織、鳥取県内企業と共にSDGsへの取り組みと推進を行ってきました。ここではこの取り組みを紹介します。

① 鳥取商工会議所SDGsパネル展示

鳥取商工会議所1階の展示スペースにおいて、SDGsに関する情報発信拠点として、多くの事業者や市民らに視覚で訴え、SDGsの普及・啓発を図るためにパネル展示が始まりました。同会議所は、会員のなかでSDGsに先進的に取り組む事業所等と連携し、SDGsの17の目標の1つである「17. パートナリーシップで目標を達成しよう」の理念のもと、このパネル展示に取り組んでいます。

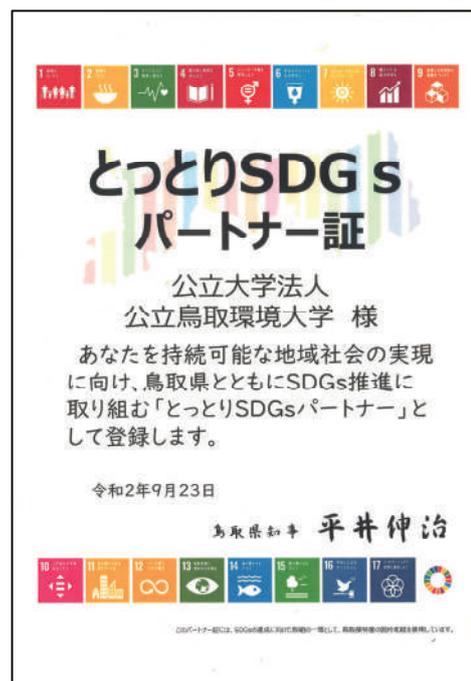
このパネル展示では、本学の「SDGs取組宣言」や「教員のSDGsに関連した研究内容」のパネルも含まれており、今後もその数を増やしていく予定です。



パネル展示の様子

② 「とっとりSDGsパートナー証」の受け取り

2020年9月23日、本学は持続可能な地域社会の実現に向け、鳥取県と共にSDGs推進に取り組む「とっとりSDGsパートナー」に登録し、鳥取県発行のパートナー証を受け取りました。



③ KANラジ「第2回 SDGsを考える」のラジオ放送

KANラジとは、本学の教員が自身の専門分野や研究等について、ラジオパーソナリティーとトークを展開する、気軽に学べるラジオ番組です。KANラジ第2回のテーマは「SDGsを考える」として、FM鳥取（82.5Hz）RADIO BIRDの協力をいただき、放送しました。経営学部 高井 亨 准教授と環境学部 甲田 紫乃 講師の2人が歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会とは何かについて語りました。

動画はこちらから

<https://youtu.be/FfNpUoFUPfA>

環境大から、あなたへ！
知識は宝だ！環境大の気軽に学べるラジオ
FM鳥取 82.5

第2回テーマ 歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会とは？
公立鳥取環境大学の教員が、様々な視点からFM鳥取のパーソナリティーと一緒にトークを展開する60分！

SDGsを考える
放送 12/5(土) 18時スタート
再放送 12/12(土)、12/19(土)、12/26(土)、1/2(土) 18時～
ぜひお聴きください！

今年出版された「SDGsを考える」歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会とは？共同編著・ナニヤ出版の編者である高井准教授と甲田講師、二人揃って第2回KANラジに登場します！

環境学部 甲田 紫乃 講師
経営学部 高井 亨 准教授

（主催）公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies
（協力）RADIO BIRD
FM TOTTORI 82.5MHz
（本件問合せ先）公立鳥取環境大学 研究交流推進課 Tel.0857-38-6704

④ 鳥取商工会議所工業部会 常任委員会における本学の研究紹介

2020年12月8日（火）に開催された鳥取商工会議所工業部会 常任委員会（※）において、環境学部 門木 秀幸 准教授が、門木准教授のゼミ生（以下「ゼミ生」という。）の研究紹介を行いました。現在、鳥取商工会議所工業部会と本学とはSDGsに関する連携事業（以下「SDGs連携事業」という。）を進めており、そのなかに学生が参加し、その能力を発揮してもらうことを期待しています。そのために今回は学生の研究の情報共有を図ることを目的に行いました。

（※）鳥取商工会議所工業部会の約250社のうち、主要企業約85社で構成される会議体。一般的な組織では理事会に位置付けられる。

門木准教授のゼミでは、主テーマとして「循環型社会の構築」をおき、個別にゼミ生が以下の研究テーマを決め、その研究テーマのもと調査・実験・分析等を行い、研究に取り組んでいます。何れの研究も持続可能な循環型社会の形成に必要な重要な研究となっています。

<ゼミでの研究テーマ>

- 廃棄物焼却処理における水銀、鉛の挙動
- 廃鉱山における鉱害対策
- 食品廃棄物のリサイクル（コンポスト化）
- マイクロプラスチックの調査・分析
- 不法投棄対策
- 災害廃棄物への対応策

また、ゼミを選択する際の学生に対して、門木准教授は「責任」「規律」「協働」「連携」「意思疎通」「チームワーク」「論理的」「情報収集」「スケジュール管理」「知識」「専門性」「自律性」「積極性」を身に付けるようにと伝えています。更にゼミにおいては「シーズ志向よりニーズ志向」「自己本位より他人本位」「やりたい事よりやるべき事」「具体的な課題解決型の研究を目指す」ということを指導しています。

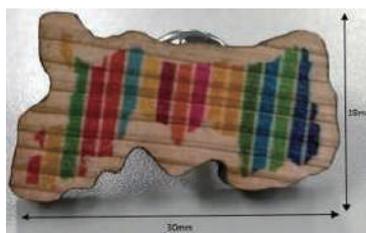
これらの能力等や先に記載の研究において得た知見等をもとにSDGs連携事業では、学生が活躍してくれることと思います。



研究報告の様子

⑤ 「とっとりSDGsパートナーピンバッジ」の受け取り

本学は、持続可能な地域社会の実現に向け、鳥取県と共にSDGs推進に取り組む「とっとりSDGsパートナー」に登録しています。この度「とっとりSDGsパートナー証」に続き「とっとりSDGsパートナーピンバッジ」を受け取りました。



※裏面に「鳥取県産間伐材使用」と焼印あり

⑥ 「公立鳥取環境大学との産学官連携に関する懇談会」における基調講演

2021年2月22日（月）に行われた「公立鳥取環境大学を支援する会」と「鳥取市」「公立鳥取環境大学」が共催する「公立鳥取環境大学との産学官連携に関する懇談会」において、中尾 悠利子 副所長が「SDGsと企業経営」と題して基調講演を行いました。

講演では「なぜSDGsなのか?」「企業が社会に与える影響とは?」「SDGsの価値とは?」「企業がSDGsに取り組む視点とは?」「変革のための実践」等の様々なかたちで説明を行い、最後に「SDGsに取り組むことで別の次元で良いことがある」と話し、その中で「実践を通じた新しい可能性」として、学生監修のもと作成した高校生向けのSDGs動画の紹介も行いました。動画の紹介の後に、実際に動画の監修と作成を行った環境学部1年の八尾 和龍さんと武内 あや菜さんから、昨今のYouTube人気等から動画でSDGsを伝えることが重要だと考えSDGs動画を作ることになった経緯等の説明がありました。

今回の懇談会では、第17回環大コンペの表彰式及び発表会も併せて実施しました。環大コンペの第1位から第3位までと奨励賞3名の合計6名の表彰の後、第1位の環境学部4年の萩原 陸斗さんが入賞した論文についてポスター発表を行いました。萩原さんは、昨今、新型コロナウイルス感染症

の影響によってネット販売の需要が拡大しているなか、生産者独自のネット販売の負担の高さを指摘し、その負担を低減する販売方法として専門出店型ネット販売に着目したと語りました。そして専門出店型ネット販売の利点と課題、今後の展開について考察した結果を発表しました。



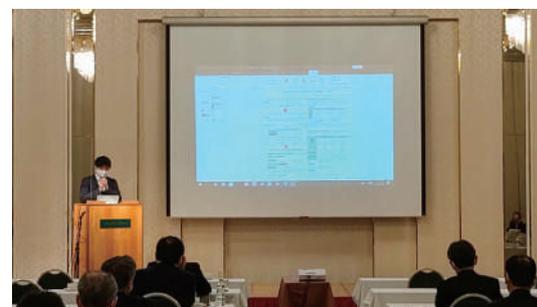
中尾副所長の基調講演



八尾さんと竹内さんの説明



表彰式後の記念撮影



萩原さんのポスター発表

⑦ 鳥取商工会議所工業部会とのSDGs連携事業キックオフ大会の開催

本学と鳥取商工会議所工業部会（以下「工業部会」という。）とのSDGs連携事業（以下「連携事業」という。）をスタートするにあたり、2021年3月17日（水）にキックオフ大会を鳥取商工会議所にて開催しました。連携事業では、SDGsの取り組み推進を目的に工業部会と本学の教員及び学生が連携し、企業の環境分野における課題を解決します。課題解決を通じて本学のSDGsの目標達成並びに学生の成長を目指します。なお、この連携事業は、本学におけるSDGs推進組織であるサステナビリティ研究所が主導して進めることから本研究所 田島 正喜 所長と中尾 悠利子 副所長が監修等を行います。

キックオフ大会では、まず、森下 哲也 工業部会長、江崎 信芳 学長から挨拶がありました。学長からは、本学が本年度末で創立20年を迎えることから、この連携事業を創立20周年事業と位置付けることの説明がありました。

続いて、連携事業の概要説明が鳥取商工会議所の事務局からありました。その後、連携事業の対象となるモデル企業3社から各社課題の発表がありました。また、その発表された課題に対する改善の

方向性の説明を環境学部 金 相烈 准教授と門木 秀幸 准教授が行いました。モデル企業 1 社目の株式会社松田安鐵工からは、同社の概要（事業内容：鑄造（鑄鉄鑄物）から機械加工までの一貫生産）、同社の沿革、3 S活動の取り組み及びその取り組みによる業績向上等の紹介がありました。そして、同社がSDG sに取り組むこと及び鑄物工場から排出される鑄物砂（廃砂（年間約18トン））とその処分費用が課題であることの話がありました。その課題について、金 准教授から「再生材料として環境安全性の評価」「廃砂の保管方法の改善」といった改善の方向性が説明されました。2社目のマルサンアイ鳥取株式会社からは、同社の概要（事業内容：食料品の製造）、製品紹介（豆乳飲料、みそ、その他食品）、豆乳業界でのシェア、豆乳市場の推移、同社の豆乳出荷量の推移等の紹介がありました。そして、豆乳製造に伴う、おからの排出（年間約7,420トン）及びその処理における課題（腐りやすい、処理に伴う輸送費等）の話がありました。その課題について、門木准教授から「食品としての活用」「飼料としての活用」「新規素材の開発」といった改善の方向性が説明されました。3社目の菌興椎茸協同組合からは、同組合の概要（事業内容：種菌育成、原木栽培しいたけの生産・商品開発・販売等）、同組合の沿革、椎茸栽培が里山の再生（伐採・植林）に重要であること等の紹介がありました。そして、しいたけの種菌を守る発砲スチロールのふたがごみとして残ってしまうことが課題であることの話がありました。その課題について、門木 准教授から「発砲スチロールに代わる生分解性材料の検討」といった改善の方向性が説明されました。

最後に本学公認サークルの「TUES地球環境を考える会（以下「考える会」という。）」からSDG sの取り組み等の紹介と金准教授からSDG s特別講演がありました。考える会は、サークルと発表者の紹介から始め、廃棄物とSDG sの関わりや企業がSDG sに取り組むメリット、サークルの活動紹介（鳥取県プラごみゼロチャレンジ、高校でのSDG s出張授業）等を話しました。そして、今まで「環境問題」と「SDG s」の勉強会とイベント実施に取り組んできたことを報告し、「今後も精一杯取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。金 准教授は、ゼミの研究紹介（キーワード：地域循環圏、環境汚染対策、環境評価とコスト分析）から始め、自身の「焼却排ガスの活用による都市ごみ焼却残渣の炭酸化処理による温室効果ガス削減及び海面埋立処分場の安定化促進に関する研究」を説明しました。そして、その研究による都市ごみ焼却残渣による温室効果ガスの削減や焼却残渣の炭酸化処理による海面埋立処分場の早期安定化等の成果を報告しました。最後にその他のゼミの学生と取り組んでいる研究等を紹介し、締め括りました。



考える会の取組等の紹介



門木准教授の改善の方向性説明

⑧ 鳥取県公式チャンネルに本学のSDGs取組紹介動画掲載

Y o u T u b eの鳥取県公式チャンネル(※1)に本学のSDGs取組紹介動画(※2)が掲載されました。本学の概要やSDGsの取り組みのきっかけ、2030年にめざす姿と現在取り組んでいること等が収録されています。

(※2)

とっとりSDGsに取り組む団体を紹介！～公立大学法人公立鳥取環境大学～.

動画. とっとり動画ちゃんねる. Y o u T u b e.

<http://www.youtube.com/watch?v=6519L8BN8ac>

(※1)

ホーム. とっとり動画ちゃんねる. Y o u T u b e.

<http://www.youtube.com/user/tottoripref/featured>